

企業人派遣講座



2024 年度

講義一覧

一般財団法人

経済広報センター

企業人派遣講座について

経済広報センターは、次代を担う大学生に最新の経済動向や産業の実態などについて、実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を開設しています。1986 年度に早稲田大学 国際部（現・国際教養学部）で開始して以来、12 大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特色ある事業や直面している経営課題、技術開発について、最新のトピックスを交えながら、わかりやすく学生たちに語りかけてきました。

2024 年度は、3 大学 3 講座を開設、41 人の講師を派遣しました。受講した学生は、合計 794 人にのぼります。本講座は、大学や学生から、日本経済や企業の実態、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。

近年、めまぐるしく変化する世界経済の中で、我が国が自立的・持続的な経済成長をしていくためには、イノベーションが継続して産まれる環境作りが必要不可欠となっています。このイノベーション創出のためにも、大学の「知」や次代を担う「人財」と、付加価値の高い製品やサービスを社会に提供し続ける「企業」とが交流し連携することは、非常に大きな意義を有していると考えられます。そのため、産学連携による本講座は、大学と企業とが出会い、産業界で活躍できる人材を育てる場の一つとして提供しています。

一般財団法人 経済広報センター

慶應義塾大学

商学部

春学期 火曜日 13:00~14:30

- 受講生 慶應義塾大学3・4年生 451名
- コーディネーター 八代 充史／慶應義塾大学 商学部教授
- 単位 2単位

経済・社会環境の変化に対応する企業の挑戦—E S G経営

〔シラバス抜粋〕

企業経営の重要課題として ESG 経営を取り上げる。特に昨今は ESG の S に該当する人的資本が重視されており、企業にとってこうした非財務情報を如何に開示するかは資金調達をする上で重要な課題である。本講座は、幅広い産業の第一線の企業で活躍する方々をお招きし、それぞれの企業が直面する投資環境と企業経営の変化とそれに対する企業の対応についてお話し頂くことで貴重な学びの場とすることを企図している。

4月9日	オリエンテーション	八代 充史	慶應義塾大学 商学部教授
	経営環境の変化に伴い企業に求められる社会課題 類型経営とコミュニケーション	佐桑 徹	経済広報センター 常務理事・国内広報部長
4月16日	機関投資家から見るサステナビリティ：拡大する ESG 投資と企業が求められるサステナビリティ経営とは	今村 敏之	野村アセットマネジメント 責任投資調査部長
4月23日	丸紅の人財戦略	鹿島 浩二	丸紅 常務執行役員 CHRO
4月30日	「我が家を世界一幸せな場所にする」～積水ハウス の事業を通じた環境課題解決への取り組み～	近田 智也	積水ハウス 執行役員 環境推進担当、E S G経営推進本部 副本部長
5月7日	新成長戦略～我々が目指す社会像、DX 推進、 日本におけるオープンイノベーション	小川 尚子	日本経済団体連合会 新経済社会創造タスクフォース 兼 産業技術本部長
5月14日	全ての革新は患者さんのために～中外製薬が目指 すサステナビリティ～	矢野 嘉行	中外製薬 上席執行役員 人事・ESG 推進統括
5月21日	カーボンニュートラル&AI 勝負の時代に向けた IT/NW インフラの革新	川島 正久	日本電信電話 研究開発マーケティング本部 研究企画部門 I O W N推進室 I O W N技術ディレクタ
5月28日	富士通における人的資本経営の実践	森川 学	富士通 CHRO 室長
6月11日	ANA グループの ESG 経営	今西 雅人	A N Aホールディングス サステナビリティ推進部 担当部長
6月18日	「経済・社会環境の変化に対応する企業の挑戦— ESG 経営明治グループの取り組み	池田 祐一	明治ホールディングス サステナビリティ推進部 副部長
6月25日	「SMARTS TM」によるサステナブル社会への貢献	川又 一浩	T O P P A N 生活・産業事業本部 S X推進センター長
7月2日	低炭素な資源循環プロセスによる循環型経済を目 指して	大鹿 嘉和	D O W Aホールディングス 経営企画部 副部長 兼 サステナビリティ推進室長
7月9日	「習慣化」で社会を変えるライオンのパーパスドリブン 経営～サステナブルな毎日にするためのアプローチ～	小林 健二郎	ライオン 取締役 兼 上席執行役員
7月16日	MUFG のサステナビリティ課題への取り組み	天田 真樹	三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 経営企画部サステナビリティ企画室長
7月23日	試験	八代 充史	慶應義塾大学 商学部教授

早稲田大学

商学部

秋学期 木曜日 13:10~14:50

- 受講生 早稲田大学商学部・他学部 1年生以上 302名
- コーディネーター 久保 克行／早稲田大学 商学学術院教授
- 単位 2単位

変化に対応する日本企業

〔シラバス抜粋〕

日本企業をとりまく環境は、新型コロナウイルス感染拡大はもちろん、少子高齢化、グローバル化の進展、ICT技術の急速な発展、政府の財政状況の悪化、中東・欧州・東アジア等における経済状況の急変などにより大きく変化し、旧来のビジネスモデルは修正を余儀なくされています。この講義では、経済の最前線で活躍されている方々をお招きして、日本企業がこれらの環境変化に対し、どのように対処しているかを直接お話しいただきます。

10月10日	ガイダンス	久保 克行	早稲田大学 商学学術院教授
	変化に対応する日本企業—金融・資本市場が/に起こす変化	正木 義久	日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部長
10月17日	メルカリのこれまでとこれからの挑戦	梅澤 亮	メルカリ 執行役員 VP of HR Japan Region
10月24日	キッコーマンの伝統と革新	三好 糸衣	キッコーマン 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長
10月31日	AI for Social Good at Google —AI Research partnership in Japan—	加山 博規	グーグル Google Research & Core Partnership 日本リード
11月7日	総合商社の進化～住友商事の歴史から	吉次 淳泰	住友商事 広報部 コミュニケーションチームリーダー
11月14日	半導体が切り拓く未来	飯田 高志	ソニーセミコンダクタソリューションズ 経営戦略部門 コミュニケーション戦略部 統括部長
11月21日	リクルートの変化対応力～事業を作り出す人とカルチャー～	宗藤 和徳	リクルート 経営企画 リクルート経営コンピタンス研究所 コンピタンスマネジメント開発部 部長
11月28日	ファミリーマートの挑戦	辻 徹也	ファミリーマート AFC 事業本部 AFC 事業部 副部長
12月5日	グローバル市場での顧客価値創造への挑戦	西浦 泰司	コマツ 常務執行役員 建機マーケティング本部長
12月12日	JX 金属はいかにして時代の変化に対応してきたのか	菅原 静郎	J X 金属 取締役 副社長執行役員
12月19日	りそなグループの DX 戦略～金融デジタルプラットフォーム構想について～	伊佐 真一郎	りそなホールディングス 執行役 グループ戦略部長
1月9日	顧客志向こそが事業の根幹	木村 幸生	江崎グリコ 執行役員 健康イノベーション事業本部長 兼 クロスリ ーショナル・ブランドリーダー
1月16日	事業を通じて社会的課題の解決を目指すオムロンのサステナビリティ経営	井垣 勉	オムロン 執行役員常務 グローバルコーポレートコミュニケーション&エンゲージメント本部長 兼 サステナビリティ推進担当
1月23日	理解度の確認（試験）	久保 克行	早稲田大学 商学学術院教授

東京科学大学

大学院共通

後学期 水曜日 15:25～17:05

- 受講生 東京科学大学大学院学生ほか 41名
 ■コーディネーター 多湖 輝興／東京科学大学 物質理工学院教授
 ■単位 2単位

科学技術特論 ～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

大学院学生に産業界の最前線の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講し、産業界あるいは企業と大学との接点を見出しそれぞれが描く将来展望のすりあわせを図ることを期待している。また研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた受講生にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待している。

10月9日	ガイダンス	多湖 輝興	東京科学大学 物質理工学院教授 多湖 輝興
	エネルギー政策に対する経団連の基本的考え方と 取り組み	笠井 清美	日本経済団体連合会 環境エネルギー本部 統括主幹
10月16日	発電用ガスタービンの技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱重工業 シニアフェロー 技師長（CTO 特命事項担当） 兼 エナジードメイン長代理（技術開発担当）
10月30日	エネルギーと気候変動	中山 寿美枝	電源開発 執行役員
11月6日	プラスチック資源循環の現状と将来展望	土本 一郎	プラスチック循環利用協会 専務理事
11月13日	2050年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長
11月20日	二酸化炭素の回収・貯留技術の現状と展望 ー世界の課題解決とCCUSへの取り組み	寒川 博之	日揮グローバル プロセステクノロジー本部 本部長代行・理事
11月27日	エネルギー・環境技術の最先端 カーボンニュートラル実現に向けたトヨタの取り組み	覚知 誠	トヨタ自動車 CNシステム開発部 CNシステム企画室 主査
12月11日	航空業界におけるエネルギー・環境先端技術 ～エアラインにおける環境への取り組み、特にCO2 排出量の削減について～	花井 直人	JAL エンジニアリング エンジン整備センター センター長
12月18日	鉄鋼業界におけるエネルギー・環境先端技術と地 球温暖化対策	鷺見 郁宏	JFE スチール 技術企画部 理事 地球環境グループリーダー
12月25日	バイオマスエネルギーの高度利用と将来展望	吉村 美毅	鹿島建設 環境本部 次長 兼 地球環境室長 室長
1月8日	鋳業（非鉄金属）業界におけるエネルギー・環境 技術の現状と展望	飛田 実	DOWA ホールディング 取締役
1月15日	原子力発電の現状及び展望 中性子の挙動から考える軽水炉から次世代原子炉	吉岡 研一	東芝エネルギーシステムズ エネルギーシステム技術開発センター シニアフェロー
1月22日	E N E O S の SAF サプライチェーン構築に向けた 取り組み	穴倉 尚	E N E O S バイオ燃料部長
1月29日	オムロンのサステナビリティ経営とカーボンニュートラル 実現に向けたパワーエレクトロニクスに関する取組	萩原 留美	オムロン グローバルコーポレートコミュニケーション&エンゲージメ ント本部パブリックアフェアーズ部 部長
		朴 青云	技術・知財本部 主査 アドバンステクノロジーセンタ アドバンステクノロジー開発部 エネルギーマネジメント 2 グループ

